

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(12月2日～12月8日)

2017年12月11日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- マケイ外務大臣が OSCE 外相会合に出席(12月7日)
- コビャコフ首相が上海協力機構首相会談に出席(12月1日)
- 世界銀行が 2018 年のベラルーシ経済は 2%のプラス成長と予測(11月30日)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

●国内オリンピック委員会連合会長との会談

12月5日、ルカシェンコ大統領は、国内オリンピック委員会連合(AGNO)のシェイク・ファハド・アル＝ザバーハ会長と会談した。同会談では、開催が迫っている2018年の冬季オリンピックに関する問題と、2019年にベラルーシで開催予定の第2回欧州選手権大会について話し合われた。

(12月5日付大統領サイト)

【外政】

●コビャコフ首相が上海協力機構首相会談に出席

12月1日、コビャコフ首相は、ロシアのソチで開催された上海協力機構首相会合の拡大会合に参加した(ベラルーシはオブザーバー国)。同首相は、ベラルーシはIT、エネルギー、農業といった分野における共同プロジェクトの立案と実現に関心があり、オブザーバー国がこれらの諸プロジェクトにより積極的に参加していくことを支持すると述べた。

(12月1日付国営ベルタ通信)

●欧州評議会反汚職国家グループによる報告書

12月4日、欧州評議会反汚職国家グループ(GRECO)は、ベラルーシに関する報告書を発表した。同報告書によると、ベラルーシは汚職に対する刑事罰に関する欧州評議会協定を批准

してはいるものの、自国の刑法典に必要な改正を加えておらず、2014年から進捗が全く見られない状況にある。

(12月4日付ベラパン通信)

●マケイ外務大臣が OSCE 外相会合に出席

12月7日、マケイ外務大臣は、ウィーンで行なわれた OSCE 外相会合に出席した。同会合の講演において同大臣は、欧州の安定と安全を維持していくための政治的シグナルを発すべきであるとし、武力紛争のリスク軽減を目的として通常兵器の新しい管理体制を構築することに賛成であると述べつつ、ベラルーシはこうした活動に貢献していく用意があると強調した。また、同大臣は、ナゴルノ・カラバフやウクライナなどにおける紛争の解決は OSCE の活動の中でも重要であると述べた。

(12月7日付外務省サイト)

経済

●たばこ製品の製造販売における新システムに関する会合の開催

12月4日、ルカシェンコ大統領は関係高官を召集し、たばこ製品の製造販売における新システムに関する会合を開催した。同大統領は同会合開催の理由として、①たばこ製品は課税されており、同製品からの税収として本年は5億ドルが見込まれていること、②欧州向け輸出を拡大する余地があることの2点を挙げた。また同大統領は、新方式は現行の方式よりも国益に適って利益の上がるもので

なければならぬことを強調した。

会合後、ルスィ副首相は、国内だけでなく輸出市場でも一元的にたばこ製品を販売することになる統一流通ネットワークが形成されるとした上で、国営企業「グロドノたばこ工場」に民間企業「エネルゴ・オイル」社が6,000万ドルを投資して、「グロドノたばこ工場」の生産能力を拡大する予定である旨述べた。

(12月4日付大統領サイト、国営ベルタ通信)

【対外経済】

●カリーニン副首相一行のブラジル訪問

11月27日～30日にかけて、カリーニン副首相一行がブラジルを訪問した。一行の滞在中、第1回ベラルーシ・ブラジル経済協力合同委員会会合が開催され、議定書が署名された。また、「ミンスクトラクター工場(MTZ)」、ベラルーシ産業省、ブラジル・ゴイアス州経済発展事務局の三者による同州でのベラルーシ製トラクター組み立て事業立ち上げの意向に関する覚書や、ベラルーシ商工会議所とベラルーシ・ブラジル商工会議所との協力に関する覚書が署名された。また両国企業間で総額4,000万ドルの契約が署名された。

また、一行の同国訪問中にブラジル・ベラルーシ・ビジネスフォーラムが開催され、ベラルーシの経済的潜在性やベラルーシ企業に関するプレゼンテーションや、ベラルーシ企業とサンパウロ州等のブラジル企業との交渉などが行われた。

(12月1日付国営ベルタ通信)

●2018年の原油供給量:2,400万トン

12月5日、モロトツォフ露エネルギー省次官は、ベラルーシ・ロシア両国が2018年のロシアからベラルーシへの原油供給量を2,400万トンとすることで合意した旨を発表。

(12月5日付露タス通信)

●ノルウェーとのWTO加盟交渉が終了

12月5日、在ジュネーブ・ベラルーシ代表部は、ベラルーシのWTO加盟に関するノルウェーとの二国間交渉が終了し、関連の両国間協定が署名されたと発表した。

(12月5日付国営ベルタ通信)

【統計・その他】

●世界銀行:2018年のベラルーシ経済は2%のプラス成長

12月6日、世界銀行はベラルーシの経済成長に関する予測を発表した。同行は、貿易環境の改善、内需の拡大、慎重なマクロ経済政策等が経済の回復を後押ししているとして、ベラルーシの経済成長率につき2017年は1.8%、2018年は2.1%、2019年は2.4%とそれぞれ予測している。

(12月6日付ベラパン通信)

(了)